

## お知らせ

### 気象庁第 3 次長期再解析 (JRA-3Q) の一部プロダクトの不具合について

気象庁第 3 次長期再解析 (JRA-3Q) のうち下記のプロダクトについて、統計処理の不具合により、本来欠測値となるべきところ異常値となっている、もしくはデータ精度の低下している格子点があることが判明しましたので、令和 4 年 3 月 1 日提供分より修正しております。修正以前のデータを取得された方には、差し替えデータを提供致します。

#### 1. プロダクト名

- JRA-3Q (長期再解析データ) 基本フルセット 期間後半 (1991-2020 年)
  - 等温位面解析月統計値 (Hist/Monthly/anl\_isentrop125)
  - 等温位面解析月別平年値 (Clim9120/Monthly/anl\_isentrop125)

#### 2. 期間

- 1991~2020 年

#### 3. 不具合の概要

JRA-3Q では気候診断用プロダクトとして等温位面解析値 (36 層、6 時間値/月統計値/月別平年値) を作成、提供しています。このうち、6 時間値から月統計値等を作成する処理における欠測格子の取扱いの不備により、JRA-3Q 等温位面解析月統計値及び月別平年値について、等温位面 36 層のうち、地表面及び大気上端と交差する上部及び下部の各数層において、不自然な分布になっていることが判明しました (図 1 左)。

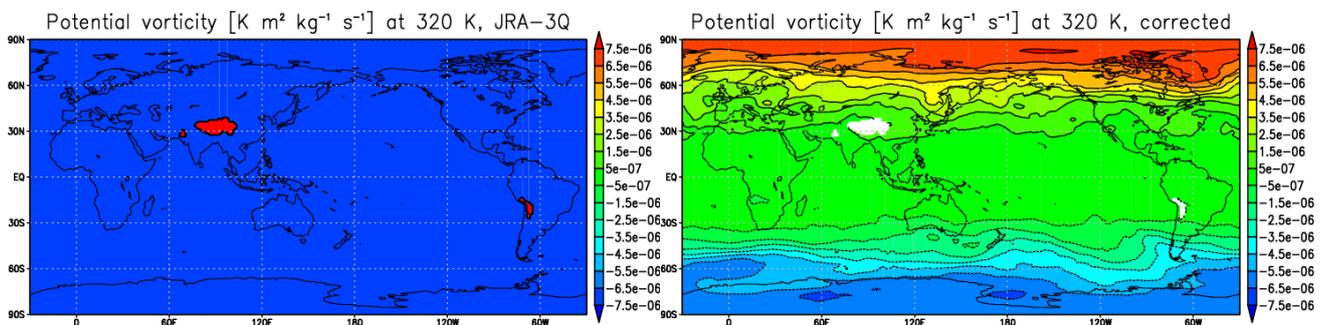


図 1 1992 年 5 月の等温位面 320K における渦位。左図は JRA-3Q、右図は不具合修正版。

等温位面解析値では、地面より下、及び、大気上端より上にある等温位面上の格子を欠測

とする仕様となっています。図1右（不具合修正版）の白抜きの部分は1か月に1回でも6時間値が欠測となった格子で、月統計値では本来欠測として扱われるべき格子です。

JRA-3Q（図1左）では、この部分において欠測値(9999)も含めて月統計処理が行われたため、正常な値（ $-1.0e^{-5} \sim 1.0e^{-5}$ ）と比べて非常に大きな値となっています。これに伴い、欠測値以外の領域でもGRIB2に圧縮して保存する際に精度が悪化して異常値になっています。

なお、影響が生じているのは等温位面解析の月統計値と月別平年値のみであり、等温位面解析の6時間値、及び、等温位面解析値以外の要素には影響がないことを確認済みです。

以上

### 問い合わせ先

気象庁情報基盤部数值予報課地球システムモデル技術開発室データ処理係

電話 : 029-851-4782

メールアドレス : [jra@met.kishou.go.jp](mailto:jra@met.kishou.go.jp)